

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

ママアップパークby健幸スマイルスタジオ

3月15日、産前産後の母親を対象とした「ママアップパークby健幸スマイルスタジオ（15面に関連記事）」のオンラインイベントを市役所で開催しました。

市役所会場とオンライン 274人参加
ストレッチや交流会楽しむ

当日は特別ゲストに3児の母でタレントの藤本美貴さんが登壇。来場やオンラインで274人が参加し、ストレッチ

や藤本さんたちとの交流を楽しみました。

初めに、同スタジオディレクター・吉永美奈子氏による運動パートに全員で挑戦。首肩の柔軟性向上に効果があるストレッチ等に取り組みました。

次に、当日会場にて参加者からリアルな子育ての声を収集し、藤本さんたちが回答する交流会を展開。藤本さんは、自分時間の確保について「行政サービスなども活用して気分転換し、無理しすぎないで」と語り、パートナーに対しては「話を聞いて共感して、感謝の思いを伝えてくれるだけで十分」と話すなど、会場か

特別ゲスト
藤本美貴さん
「無理しすぎないで」



交流会で子育ての経験談を語る藤本さん

らは賛同の声があがっていました。さらに、子どもの寝かしつけには「泣くのは成長の証しと思うと気持ちが楽になる。今だけと思って」と、先輩ママとしてエールを送っていました。



運動パートでストレッチを行う藤本さん（舞台右）・吉永さん（同中央）



渡り初めを楽しむ市民たち

栄養士が講師 親子料理教室

子育て支援センター・あいあいポケット

3月6日、子育て支援センター・あいあいポケットで「簡単親子クッキング～手作りふりかけと味噌玉作り～」が行われ、親子8組17人が参加しました。

同イベントは、食材の味や匂いを感じ、自分たちで作ったものをみんなで食べる楽しさを味わってもらおうと同センターが企画し、栄養士が講師を務めました。

ふりかけ作りでは、すりこぎとすり鉢ですった「すりゴマ」に青のりやかとお節、塩をブレンド。

炊き立てご飯に混ぜ、ラップで包んでおにぎりにしました。

そして、味噌とかつお粉を練って丸めた味噌玉に、お茶漬けなどに入れる「ぶぶあられ」や麩などをトッピングすると、お湯を注ぐだけのおいしい味噌玉の出来上がり。試食では親子で、おいしそうにほおばっていました。

5歳と3歳の子どもと参加した吉川千江美さんは、「料理好きな長女と、小学校に上がる前にいい経験ができた」と話していました。



味噌玉に具材を入れたり、おにぎりに握ったりする参加者

流れ橋 通行再開

昨年10月の火災による影響で、通行止めとなっていた上津屋橋（通称・流れ橋）の復旧工事が完了し、3月14日から通行が再開されました。

同橋は、本市と久御山町をつなぐ全長356.5m、幅3.3mの木造橋。増水時に橋脚とワイヤでつながった橋桁が浮き、いかだのように流れる仕組みになっています。

昨年10月に火災により主要部材が約17mにわたり焼損し、京都府による復旧工事が行われていました。今回、約27mが補修されたほ

か、再発防止策として、木製部材に塗る防腐処理剤を燃えにくい材料へ変更し、啓発看板の更新も実施されました。

通行再開の当日は、午後3時に立ち入りを防止する柵が撤去されると、通行を待ちわびた市民ら約40人による渡り初めが行われ、復旧を喜びました。

八木郷子さん(90)は、「健康のため、毎日の散歩が日課。明日からまた毎日渡ります」と笑顔でした。

流れ橋の利用について、詳細は右記二次元コードから。



京都府ホームページ

今月のこの人

徒然草エッセイ大賞 小学生の部大賞を受賞



市が「はじまり」をテーマに募集した「第八回徒然草エッセイ大賞」で、小学生の部大賞を受賞。美濃山小学校6年生。

中野礼寧さん

「まさか大賞をとると思わなくて、びっくりしたけどうれしかった」と受賞の喜びを話すのは、美濃山小学校6年生の中野礼寧さん。

中野さんが題材にしたのは、2学期の初めに中学受験の勉強のため塾に向かう途中、母が運転する車の中から眺めた町の情景。夕陽に照らされ輝く稲穂や、歩行者の長く伸びた影など、い

つつまにか初秋を迎えていた季節の移ろいに驚き、秋の「はじまり」を、秋に鳴く虫「カネタキ」とともに著しました。

読書好きで、登場人物の心理描写に引き込まれることが多いという中野さん。エッセイには、比喩表現を効果的に用いて風景

の美しさや心情が豊かに表現されていることなどが評価され、小学生の部の大賞を受賞。さらに「秋の訪れと同時に受験勉強のラストスパートに向けた決意もこめられている」といいます。

志望校に合格し、春からは中学生。「放送部に入って、いろんな行事に関わりながら学校生活を楽しみたい」と話していました。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体を紹介しています。詳しくは、市ホームページまたは秘書広報課へ。